

山根 正巳 選

特選

潮の香に蟬のこゑ乗る靛の浦

並木学院福山高等学校一年 森 蓮杜

【評】靛の浦の夏の景色が浮かぶ。蟬の鳴き声が潮の香りに乗って聞こえてくると捉えた作者。その感性が素晴らしい。

入学式ぎゅっとないだ小さな手

福山市立伊勢丘小学校六年 福島 心渚

【評】六年生が新一年生の手を引いて入場する入学式。緊張からか強く握った一年生の手が小さくて驚いている様子が見える。

曇天の空気は重し梅雨の朝

県立広島皆実高等学校二年 坂本 あゆ

【評】梅雨の時期は曇り空が続く。朝見上げる空は曇天。厚い雲に押されて空気を重く感じる梅雨の朝が上手く描けた。

好きなのに浴衣の君に言えぬまま

呉市立吉浦中学校三年 早川 亜希

【評】夏祭の出来事であろうか。彼女に告白をしようと決めていた彼。浴衣姿の彼女に最後まで言えなかった彼の心が切ない。

夏課題最後の日まで奮闘す

広島市立船越中学校三年 藤田 雅紀

【評】夏休みの課題は先送りをしがちである。課題を遣り遂げるため夏休みの最後の一日を懸命に頑張っている姿が浮かぶ。

入 選

満開の桜トンネル駆け抜けて

桜散る短い時を共に居て

揺れの中まどろむ午後春列車

灯籠の流れる川へ願いのせ

夕立に降られ入った君の傘

街中が光に満ちたクリスマス

夏合宿早起きをして走り込む

カマキリのす速い動き目が光る

かぶとむしつのであいてをもち上げる

早起きで朝から元氣セミの声

廿日市市立大野中学校三年 谷口ひかり

呉市立吉浦中学校三年 片岡 怜菜

東広島市立高屋中学校三年 戸川 和香

呉市立呉高等学校三年 河本 聖花

呉市立呉高等学校三年 榎本こころ

呉市立呉高等学校二年 好川 礼美

県立広島皆実高等学校三年 田室 陽羽

大竹市立大竹小学校四年 岩岡 良

廿日市市立佐方小学校二年 角西 颯馬

廿日市市立地御前小学校五年 富永 葵依

みずあそびとうさんねらってみずかける

海田町立海田小学校一年 小福川貴一

天の川夢よ叶えと願う夜

呉市立呉高等学校二年 アビヤンサトシ

アスリート流れる汗は輝いて

呉市立呉高等学校二年 西垣内結衣

背中押す希望の道へ春の風

廿日市市立大野中学校三年 日中 春希

ゆらゆらら踊るはなびら空一面

広島市立祇園東中学校三年 越智 心晴

ランドセル笑顔でせおう入学日

廿日市市立佐方小学校五年 皿田 彩純

校門に手を振る君と春の風

広島市立祇園東中学校三年 三浦 果凛

梅雨明けの街を映した水たまり

福山市立駅家南中学校三年 佐藤菜々子

さつまいもほかほかするよ心もね

廿日市市立地御前小学校三年 福田 琴葉

手を合わせ受験番号確かめる

廿日市市立佐方小学校六年 正岡 祐杜

山根 正巳 選

特 選

日盛や通りに動くものの無く

広島市 下田あつ子

【評】 暑い盛りに出歩くものなどいない。日盛の熱い大気が満ちた静かな通りの様子を「動くものの無く」と上手く描いている。

ただ今を生きる幸せ新酒酌む

福山市 岩元 剛

【評】 今を生きることの幸せを感じながらの日々の暮し。一年振りに新酒を飲むのは格別の幸せ。心豊かな人生が見える。

病室にあがる喚声遠花火

東広島市 山田美佐子

【評】 遠くに花火の見える病室で患者さん達の花火見物。大輪の花火に思わず喚声があがる。消灯前の楽しいひととき。

ほたる飛ぶ闇に言伝て書くやうに

三次市 田中 暁美

【評】光の尾を引いて飛ぶ蛭。その光の尾を短い言葉を書いているようだと見た作者。どんな言伝てが見えただろうか。

聖鐘の相和すみ空長崎忌

福山市 波多野千鶴子

【評】原爆で失なわれた浦上天主堂の双塔の鐘が八十年振りに復活した長崎忌。「相和す」鐘の音は慰霊と平和への祈り。

入 選

鳩の子の肩で息する大暑かな

廿日市市 長岡はるみ

威勢よき声につられて初鰹

安芸郡府中町 池野つむぎ

梅干すや祖母の遺せし策二枚

三次市 林 敏明

合歡咲くや母に詫びたき事ひとつ

広島市 徳毛 佳美

虫かごと凶鑑に見入る稚児と母

山県郡安芸太田町 齊藤たえ子

顔見せてくれる孝行暖かし

福山市 箱田富久恵

バス停の別れ永久かも秋の暮

三次市 林 勝子

涼しさや艫より愛でる常夜燈

福山市 長月 憂

空手にて立つ我一人月冴ゆる

東広島市 野田 和映

強東風に天満宮の絵馬騒ぐ

広島市 山口 順子

八十年戻る一日の原爆忌

広島市 平山 英子

三世代一つの祈り原爆忌

広島市 羽城 裕子

原爆忌平和の鐘にある余韻

福山市 渡辺 素子

身じろがず黙祷一分終戦日

福山市 濱田喜代恵

祈り打つ大和の時鐘終戦日

呉市 青木 啓子

つばくろに土間の小窓を開けておく

安芸郡府中町 石橋 康徳

雨の糸斜交ひに切り燕飛ぶ

廿日市市 今田 笹舟

団扇まづ風を試して母に向け

福山市 大塚 文枝

河鹿笛神話の里の夕間暮れ

広島市 山本 憲治

灯台へ寄せる波音雲の峰

福山市 山本 昭夫